

生活道路に関する検討小委員会の若手補助員の募集について

社団法人 交通工学研究会
生活道路に関する検討小委員会

交通工学研究会では、1996年に出版したコミュニティ・ゾーン形成マニュアルの後継マニュアルを作成することを目的として生活道路に関する検討小委員会を設立し、検討を行ってまいりました。すでに目次案が完成し、平成23年度前半の出版を目途に最終段階を迎えようとしています。

その議論の中で、「生活道路対策の実践や研究を行う若手を増やす必要があるのではないか」との指摘があり、検討の結果、以下の要領で研究会の若手補助員を募集することといたしました。生活道路に関心のある方の自薦・他薦をお待ちしております。

【小委員会の詳細につきましては、別紙1および別紙2をご覧ください】

- ・ 募集対象：生活道路に興味があってやる気のある若手の方（原則として35歳未満）
- ・ 募集人数：若干名
- ・ 職 種：コンサルタント、NPO、行政、若手研究者（ただし学生を除く）等
（コンサルタントと行政の方は、所属機関の同意を必要とします）
- ・ 任 期：平成23年4月1日～研究会活動終了まで（平成23年以内）
- ・ 活動内容：委員会等の傍聴（資料はすべてお渡しします）。出版活動の補助作業（ただし知識経験に応じて応相談）
- ・ 条 件：交通費、作業費等は一切支給できません。また、委員名簿にも記載されません。

ご希望の方は、別紙3の応募用紙に必要事項をご記入の上、2月28日までに交通工学研究会 石丸宛（info@jste.or.jp）にお送りください。

“生活道路に関する検討小委員会”趣意書

生活道路に関する検討小委員会
委員長 久保田尚

交通工学研究会では、平成 8 年 5 月に「コミュニティ・ゾーン形成マニュアル」(警察庁交通局 / 建設省都市局、道路局監修)を出版し、同年に始まったコミュニティ・ゾーン形成事業等の生活道路関連事業の推進に寄与してきました。その後も、「コミュニティ・ゾーン実践マニュアル」(平成 12 年)、「コミュニティ・ゾーンの評価と今後の地区交通安全」(平成 16 年)を続けて出版し、現在に至っています。

このたび、「コミュニティ・ゾーン形成マニュアル」の在庫切れが近づいていること、及び、その後の状況変化に対応した改訂が必要との判断から、改訂版の出版を目指すことになりました。そこで、出版委員会の下に「生活道路に関する検討小委員会」を設置し、内容の検討を開始しています。

小委員会では、別紙 2 に示すように、行政およびコンサルタントのメンバーを中心とする多彩なメンバーにより、マニュアル改訂に関する議論にとどまらず、生活道路の安全に関する幅広い議論が重ねられています。

別紙2 生活道路に関する検討小委員会名簿(平成22年度)

久保田 尚 埼玉大学大学院 (委員長)

伊藤 将司 (株)福山コンサルタント東日本事業部

上野 俊司 国際航業(株)

岡本 雅之 国土交通省 道路局

金子 俊之 (株)福山コンサルタント 西日本事業部

沢田 章夫 警察庁 交通局

竹林 秀基 国土交通省 道路局

竹本 由美 (財)国土技術研究センター

寺内 義典 国土館大学

浪川 和大 警視庁 交通部

花村 嗣信 国際航業(株)

林 隆史 (財)国土技術研究センター

平川 貴志 (株)ドーコン

福本 仁志 国土交通省 都市・地域整備局

細見 明彦 国土交通省 都市・地域整備局

本田 肇 国土交通省 国土技術政策総合研究所

牧野 幸子 (株)ケー・シー・エス 東京支社

松原 淳 交通エコロジー・モビリティ財団

山本 俊雄 (株)長大

横山 哲 (株)ドーコン

別紙 3 生活道路に関する検討小委員会 若手補助員の応募用紙
交通工学研究会 生活道路に関する検討小委員会 御中

下記により、生活道路研究会の若手補助員に応募したいので、ここに申し込みます。

ふりがな		印				
氏名						
昭和	年	月	日生 (満 歳)	性別	男	女
勤務先	・所属 ・職名 ・住所 〒 e-mail: TEL.					

生活道路への取 り組みの経験及 び志望動機 (200 字程度)	
--	--

所属機関の同意	上記の者が、交通工学研究会生活道路小委員会の若手補助員として活動することを認めます。 承認者氏名 所属・職名	印
---------	--	---